

JAPAN Venture Awards 2012

未来を切り開け!
志高き挑戦者たちよ、立ち上がれ!

概ね創業15年以内の挑戦する起業家を表彰します。

創業を目指す者のモデル事例として
相応しい優れた創業・ベンチャー企業の経営者を発掘・表彰いたします。

主催：独立行政法人 中小企業基盤整備機構

後援：
(予定) 経済産業省中小企業庁、独立行政法人 産業技術総合研究所、
独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構、独立行政法人 情報処理推進機構、
独立行政法人 科学技術振興機構、株式会社日本政策金融公庫、株式会社商工組合中央金庫、
全国商工会連合会、日本商工会議所、東京商工会議所、公益社団法人経済同友会、日本ベンチャー学会、
財団法人ベンチャーエンタープライズセンター、社団法人日本ニュービジネス協議会連合会、
社団法人関東ニュービジネス協議会、社団法人日本ベンチャーキャピタル協会、全国地方新聞社連合会



あなたの挑戦が、日本を形づくり

Japan Venture Awards は、新たな事業の創出や新たな市場の開拓に積極的に挑戦する、高い志をもつ東日本大震災による経済影響の中、新たな試み・挑戦を行う『魂』を、これから創業・起業を目指す方々へづくり、経済を牽引する力——それは、熱い『魂』をもったベンチャー企業です。

1. JVAの趣旨

「Japan Venture Awards(以下JVA)」は、平成12年度からスタートし、これまで延べ189名の受賞者を送り出してきました。

JVA2012では、社会性、先進性、革新性、地域性、国際性、技術性等に優れた事業を行い、リスクを恐れず挑戦する起業家を表彰いたします。

2. 開催概要

名称：Japan Venture Awards 2012
表彰式開催日：平成24年2月22日(水)
会場：六本木ヒルズ森タワー49F(アカデミーヒルズ)
(東京都港区六本木6-10-1)
主催：独立行政法人中小企業基盤整備機構
後援：経済産業省中小企業庁 他

3. 募集対象

- **企業創設後、概ね15年以内であり、高い志を持ち、
自立する中小企業等(下記に該当する)の経営者又は代表者**

※経営の多角化や事業転換により、本業とは別に新規事業を創出した場合を含む

- 地域の活性化や、雇用創出に貢献する企業
- 地域ニーズへの対応や、地域の資源・特徴を活かした事業に取り組む企業
- グローバル市場など、積極的な市場開拓に挑戦する企業
- 製品、サービス及び、ビジネスモデル等に
新規性、革新性がある企業
- 社会的課題の解決に取り組むなど、社会貢献性の高い企業
- 東日本大震災の復旧・復興に関連した、創業、雇用の増進、地域活性化、社会貢献等に寄与する法人[※]
※企業、NPO法人、LLC(合同会社)など

- 中小企業等について
募集対象とする中小企業等は、下記のいずれかに該当する
個人事業者、企業・法人、又はそれらによって構成される組織とし、
活動主体が国内にあるものとします。

業種分類	中小企業基本法で定める中小企業の定義
製造業その他	資本金3億円以下、 又は常時使用する従業員が300人以下
卸売業	資本金1億円以下、 又は常時使用する従業員が100人以下
小売業	資本金5千万円以下、 又は常時使用する従業員が50人以下
サービス業	資本金5千万円以下、 又は常時使用する従業員が100人以下

上記の業種分類は第12回改訂版日本標準産業分類に基づきます。

4. 募集期間

平成23年8月25日(木)～11月30日(水)

期日までに必着

5. 表彰名

以下の内容を予定しております。

表彰名	表彰対象
 JVA 2012 経済産業大臣賞	事業内容、活動実績、経営者の資質や社会的な評価(貢献度)等を総合的に評価の上、他の企業の模範として相応しい極めて優秀な経営者
 JVA 2012 中小企業庁長官賞	事業内容、活動実績、経営者の資質等を総合的に評価して特に優秀な経営者
 JVA 2012 中小機構理事長賞	上記以外の優秀な事例のうち、公的支援制度等を活用し、業績良好な企業の経営者
 JVA 2012 JVA審査委員会特別賞	さらに上記以外に優秀な事例があれば、事業その他の特徴と経営者を総合的に評価して、テーマ別に特別表彰を行う

6. 表彰の基準

下記の項目について審査を行います。

- [1] 新規性・革新性
- [2] 成長性・将来性
- [3] 経営者の資質 (意欲、キャリアの活用度や経営方針など)
- [4] 社会的な影響度 (社会貢献性、他の模範となるなど)

上記の項目を踏まえた上で、審査委員会で各案件の特徴を考慮いたします。

参考例)

- 医療・福祉・雇用・教育等の社会的な課題解決に取り組む等、その事業で地域や社会に貢献している経営者
- 公的支援策を有効活用し、業績を伸ばす／改善させる等に取り組む経営者
- チャレンジ精神旺盛な若手経営者やシニア世代からの起業家
- 今後成長が期待される事業分野の経営者

ます。

ベンチャー企業の経営者を表彰し、今年で11回目を迎えます。
広く伝え、事業の創出や育成を促進します。日本の未来を形



7. 応募方法

応募は自薦・他薦(※)を問わず、下記の方法にて事務局へご応募ください。

① JVAウェブページから【応募様式】をダウンロード
<http://j-venture.smrj.go.jp>

② 【応募様式】に必要事項を記入する

③ 【必要書類(会社案内、過去3年分の財務諸表[決算報告書など])】を
用意する

④ JVAウェブページより申し込みIDを取得する
(お申し込みフォームから登録後、登録いただいたアドレスに、
IDが記載されたメールが送信されます)

⑤ 【応募様式】、【必要書類】を事務局に
E-mail(もしくは郵送)で応募
※E-mailで応募の際は、事務局へお電話にて送信の旨をご連絡ください。

(※) 他薦の対象となる団体

■法人格を有する団体(公的支援機関、地方自治体、経済団体、大学等研究機関)等

8. 書類の提出先

JVA2012 運営事務局

<E-mail>
jva@media.nikkan.co.jp

<郵送・宅配便>
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (日刊工業新聞社内)
電話:03-5644-7013

9. 応募費用等

応募に際して、手数料等は一切かかりません。
ただし、通信費、郵送料は応募者の負担とさせていただきます。また面
接審査及びJVA表彰式出席に必要とされる交通費等の支給はありません
こと、ご了承ください。

10. 審査方法

有識者で構成された JVA2012 審査委員会で審査します。
柳 孝一委員長(早稲田大学 ビジネススクール 教授)をはじめ産学
官、各界の経営者、専門家で構成します。入賞候補者には、面接
審査をお願いする場合があります。

■JVA2012審査委員会(敬称略・順不同)

委員長 柳 孝一 早稲田大学 ビジネススクール 教授
委員 呉 雅俊 (株)TNPパートナーズ 代表取締役社長
鴨野 則昭 (独)科学技術振興機構 総務部長
藤野 英人 レオス・キャピタルワークス(株) CIO
高乗 正行 (株)チップワンストップ 代表取締役社長
橘田佳音利 (株)フラジュテリー 代表取締役
西澤 民夫 (独)中小企業基盤整備機構
統括プロジェクトマネージャー

計7名

11. 受賞の取り消しなど

以下の場合、応募を無効又は本賞の付与を取り消します。

- 本表彰の目的を損なうような行為もしくは虚偽の記載があった場合
- 法令違反など社会通念上、本賞受賞者(企業)とすることがふさわしく
ないと判断される場合
- 追加のヒアリング調査等にご協力いただけない場合

<応募書類の取り扱いについて>

- 応募申請書は審査の目的以外には使用いたしません。
- 審査内容の詳細、審査結果に対する意義申し立てについては
一切お受けできません。

12. 広報・PR活動

<受賞者発表>

平成24年1月上旬ごろ、入賞者へは内定のご連絡をいたします。
2月22日(水)開催のJVA表彰式へのご登壇をお願いします。

<表彰方法>

受賞者に対して表彰式を行います。
詳細につきましては追って受賞者に連絡します。

<受賞者の広報・PR>

受賞者に対しては表彰式後の
広報・PR活動、各種イベント等へのご協力をお願いいたします。

詳しくは・・・ JVA2012ウェブサイト <http://j-venture.smrj.go.jp>

創業・ベンチャー

検索

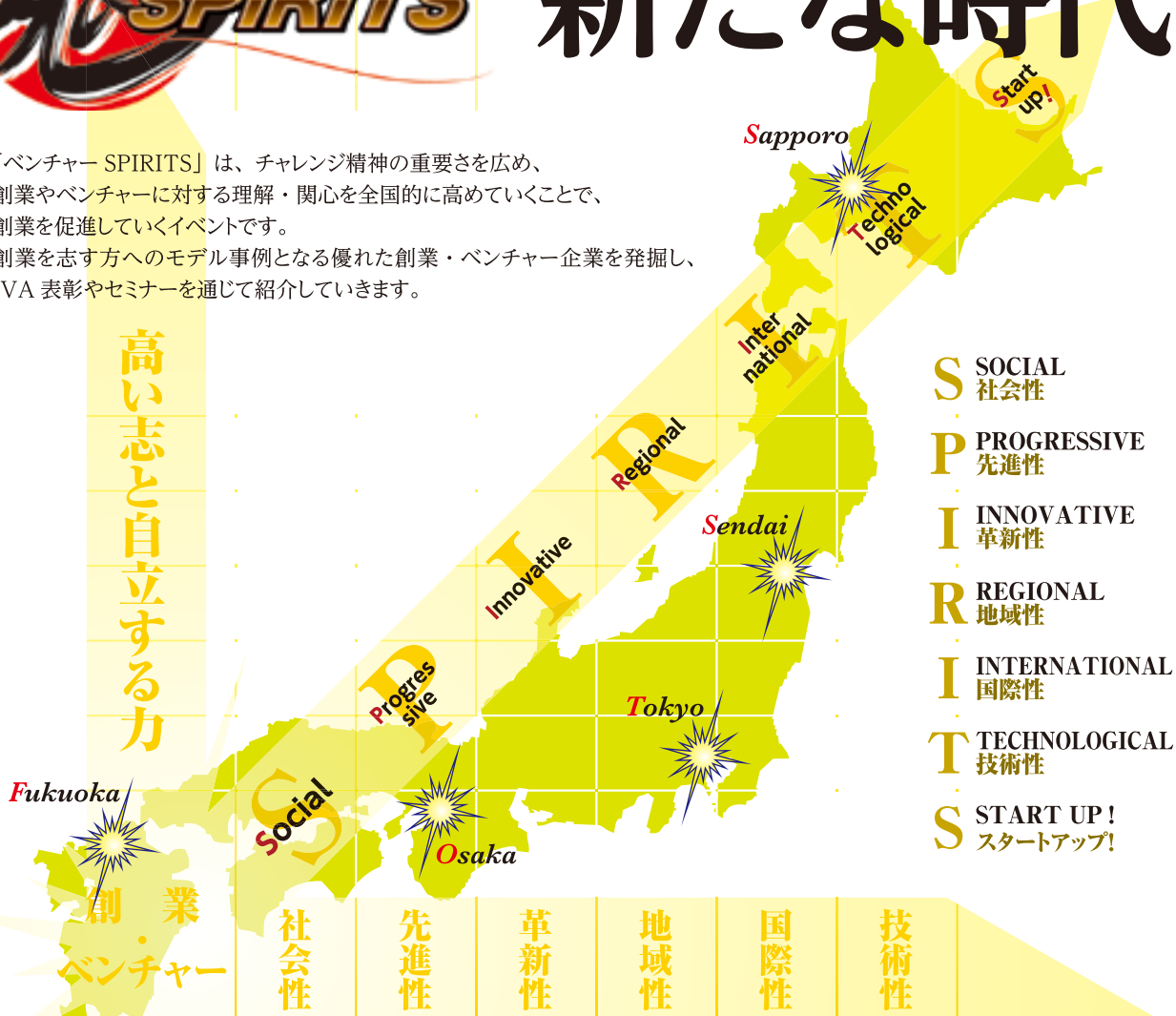
「JVA2012」および「ベンチャーSPIRITS」は、ベンチャー企業の新たなビジネスモデルを支援する試みを行ってまいります。



ひとりひとりが創る 新たな時代

「ベンチャー SPIRITS」は、チャレンジ精神の重要性を広め、創業やベンチャーに対する理解・関心を全国的に高めていくことで、創業を促進していくイベントです。創業を志す方へのモデル事例となる優れた創業・ベンチャー企業を発掘し、JVA 表彰やセミナーを通じて紹介していきます。

高い志と自立する力



- S** SOCIAL
社会性
- P** PROGRESSIVE
先進性
- I** INNOVATIVE
革新性
- R** REGIONAL
地域性
- I** INTERNATIONAL
国際性
- T** TECHNOLOGICAL
技術性
- S** START UP!
スタートアップ!

創業
ベンチャー

社会性 先進性 革新性 地域性 国際性 技術性

「JVA2012」受賞までの流れ



JVA2012のWeb

「JVA2012」Web サイトでは、これまでの受賞者の皆様をご紹介します。創業・ベンチャーの企業事例データベースから、創業のヒントをご提供します。
<http://j-venture.smrj.go.jp>



昨年の取材実績
共同通信、TOKYO MXTV、日経BP、企業家ネットワーク、新聞など、TV・新聞・Webメディアなど全国40媒体。本賞の受賞を通じ、販促や商品・サービス力の確かな証としてお役に立てます。

主催

独立行政法人中小企業基盤整備機構
新事業支援部 販路開拓支援課
〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37 森ビル

運営事務局

JVA2012運営事務局
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (日刊工業新聞社内)
電話：03-5644-7013 FAX：03-5644-7397
E-mail：jva@media.nikkan.co.jp

・基本はテキストでのご記入をお願い致します。・追加資料として、図、グラフがあれば項目ごとに挿入してください。

P.1 ※1

■ 注意点

- ※応募者ご本人がご記入ください(IV推薦者欄は推薦機関が記入)。
- ※本様式に下記、「必要書類」を添付してください
(コピーで結構です。可能な限り片面印刷でお送りください)。
- 会社案内 製品・サービスの説明資料(A4、3枚以内)
- 過去3年分の財務諸表(決算報告書)
- 新聞・雑誌等で取り上げられたことがある場合は、その掲載記事(2点以内)

応募様式へのご記載にあたっては、以下の点にご留意ください。

- I「応募申請者/窓口」、II「候補者のプロフィール」は1頁目に、ご記載ください。
- III「候補者ご自身や事業内容等(図表、写真等の記載も可)」、IV「推薦者名/推薦者機関名」、V「誓約書」は、2頁目～6頁目以内でまとめてください。

P.2 ※2

P.3 ※2

P.4 ※2

P.5 ※2

※1 P.1 に関しては全ての項目を、P.1に記載してください。

※2 P.2～6 に関しては、記載されたい内容毎に、適宜ページ数を調整してください。

※最終ページはご応募に関する誓約書になります。

経済産業大臣賞



眼科手術補助剤ILM
ブルーの開発

アキュメンバイオファーマ(株)
代表取締役社長 兼 CEO 鍵本 忠尚 氏

中小企業庁長官賞



防災備蓄用
「パンの缶詰」の
製造販売

(株)パン・アキモト
代表取締役 秋元 義彦 氏



がん患者等に
対する人工乳房の
製作

(株)ウロメディカルジャパン
代表取締役 池山 紀之 氏

中小機構理事長賞



容器返却不要の
宅配水サービス

(株)ウォーターダイレクト
代表取締役社長 伊久間 努 氏



マンションの
電力一括受電
サービス

中央電力(株)
代表取締役 中村 誠司 氏



遺伝子医薬製剤の
研究・開発

アンジェスMG(株)
取締役・創業者 森下 竜一 氏

JVA審査委員会特別賞

モノづくり特別賞



光学部材等に
有用なナノ粒子
製造装置開発

(株)アイテック
代表取締役
飯田 勝康 氏



紫外線発光
ダイオードの
製造販売

ナイトライド・セミコンダクター(株)
代表取締役
村本 宜彦 氏

地域貢献特別賞



光技術を
駆使した
高栄養化の
野菜栽培

(株)ホト・アグリ
代表取締役
岩井 万祐子 氏



こだわり食材に
特化した
ネット通販

(株)食文化
代表取締役社長
萩原 章史 氏

大学発ベンチャー特別賞



分割ポリリン酸
利用、医薬品
製造販売

リジェンティス(株)
代表取締役
柴 肇一 氏



カーボン
ナノチューブの
製造販売

(株)名城ナノカーボン
代表取締役
橋本 剛 氏

IT特別賞



公衆無線LAN
関連サービス
の提供

(株)ワイヤレスゲート(旧社名: 株式会社リフレットゲート)
代表取締役CEO
池田 武弘 氏



高速で見やすい
検索エンジン
サービス

フォルシア(株)
最高経営責任者
屋代 浩子 氏

新事業展開特別賞



駐輪場遠隔
管理システムの
開発運営

トーマス(株)
代表取締役
小野原 龍弘 氏



紙とデジタルが
融合したコード
技術開発

(株)アポロジャパン
代表取締役
顧 澤蒼 氏

海外事業展開特別賞



JAPAN Venture Awards 2011受賞者の皆様

※お役職は受賞当時のものです。※JVA2012では部門・表彰名が若干変更となる予定です。